



図書館だより（第4号）

北宇和高校図書委員会

夏季休業が終わり、2学期が始まりました。夏季休業中は、読書をするなどゆったり過ごす時間を持つことはできましたか。夏季休業中から、3年生を中心に応援やダンス、パネルなど、懸命に準備が進められ、9月初めに実施される体育祭が待ち遠しいですね。まだまだ暑い日が続いていますが、間もなく、学業、スポーツに最適の季節と言われる秋、実りの秋、読書の秋を迎えます。2学期は、様々な学校行事が予定されています。一日一日を大切に学校生活を充実させていきましょう。忙しい日々の中、読書の時間も持てるといいですね。

新着図書の一覧を裏面に掲載しています。今回は、1学期に SHR で実施した全校一斉リクエスト図書調査で希望があった本と図書館のリクエストボードに記入のあった本を中心に購入しています。本校で人気のある作家、町田そのこさん、凧良ゆうさんの久しぶりの長編小説も入りました。希望の多かったレシピ本も入ります。引き続き、リクエスト図書がある人は、図書館のリクエストボードに記入するか、クラスの図書委員に伝えてください。できる限り、皆さんの希望する本を購入していきます。

第 167 回芥川賞受賞「おいしいごはんが食べられますように」 高瀬隼子 著

今回、図書館に入ったこの作品の著者、高瀬隼子さんは、愛媛県出身で 1988 年生まれ。この作品で、第 167 回芥川賞を受賞されました。

現在、県内の書店にも多数置かれていて、今最も注目されている作品の一つです。話題作りのためにも読んでみませんか。

「二谷さん、わたしと一緒に、芦川さんにいじわるしませんか」心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがんばり屋の押尾。ままならない微妙な人間関係を「食べること」を通して描く傑作。



高瀬隼子さんについて

愛媛県新居浜市出身の 34 歳で、大学卒業後、東京で会社に勤めながら夜と休日に執筆し、2回目のノミネートで、芥川賞を受賞されました。現在も会社員として勤められているそうです。大学では、哲学を専攻し、文芸サークルに所属されていたそうです。 「愛媛新聞」より引用

「芥川賞」について、知っていますか？

正式には、芥川龍之介賞といい、芸術性を踏まえた短編あるいは中編作品に与えられる文学賞です。大正時代を代表する小説家の一人、芥川龍之介の業績を記念して、友人であった菊池寛が 1935 年に直木三十五賞（直木賞）とともに創設し、以降年 2 回発表されます。第二次世界大戦中の 1945 年から一時中断しましたが、1949 年に復活しました。

～お願い～ 1 学期に借りた本は、なるべく早く図書館に返却してください。返却は、図書館カウンターの返却箱に本を入れるだけです。クラスの図書委員に渡してもかまいません。引き続き借りたい場合は、延滞手続きをお願いします。また、図書を返却したら、ぜひ新しい本を借りましょう。

新着図書を紹介

| 書名 | 著者名 | 出版社名 |
|-------------------------------|----------|-----------|
| すうがくでせかいをみるの | ミゲル・タンコ | ほるぷ出版 |
| 宙ごはん | 町田 そのこ | 小学館 |
| ひだまりに花の咲く | 沖田 円 | スターツ出版 |
| 両手にトカレフ | ブレイディみかこ | ポプラ社 |
| 死神と天使の円舞曲 | 知念 実希人 | 光文社 |
| やる気に頼らず「すぐやる人」になる 37のコツ | 大平 信孝 | かんき出版 |
| しにたいけどトッポッキは食べたい | ペク・セヒ | 光文社 |
| 余命一年と宣告された僕が余命半年の君と出会った話 | 森田 碧 | ポプラ社 |
| 覚悟の磨き方 超訳 吉田松陰 | 池田 貴将 | サンクチュアリ出版 |
| おいしいごはんが食べられますように | 高瀬 隼子 | 講談社 |
| ひとつむぎの手 | 知念 実希人 | 新潮社 |
| 都会のラクダ | 渋谷 龍太 | KADOKAWA |
| シンプルな材料だけで美味しく作れる低糖質の焼き菓子 | 山本 蓮理 | 秀和システム |
| ドS刑事 風が吹けば桶屋が儲かる殺人事件 | 七尾 与史 | 幻冬舎 |
| ドS刑事 朱に交われれば赤くなる殺人事件 | 七尾 与史 | 幻冬舎 |
| ドS刑事 三つ子の魂百まで殺人事件 | 七尾 与史 | 幻冬舎 |
| ドS刑事 桃栗三年柿八年殺人事件 | 七尾 与史 | 幻冬舎 |
| ドS刑事 さわらぬ神に崇りなし殺人事件 | 七尾 与史 | 幻冬舎 |
| ドS刑事 井の中の蛙大海を知らず殺人事件 | 七尾 与史 | 幻冬舎 |
| Another エピソードS | 綾辻 行人 | KADOKAWA |
| Another 2001 | 綾辻 行人 | KADOKAWA |
| ルポ 誰が国語力を殺すのか | 石井 光太 | 文藝春秋 |
| 眠れないほどおもしろいやばい文豪：こうして生まれたあの名作 | 板野 博行 | 三笠書房 |
| 汝、星のごとく | 凧良 ゆう | 講談社 |

現段階では、まだ届いておらず、受け入れが終わっていない本もありますが、希望がある人は、貸し出し予約を受け付けます。図書館かクラスの図書委員に伝えてください。受け入れが終わり次第、最初に借りることができます。

第76回読書週間の標語が決まりました。

標語「この一冊にありがとう」

10月27日～11月9日までの2週間が読書週間です。終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、開催され、この運動は全国に広がっていきました。いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

「読書推進協議会」H.P.より引用

全校一斉リクエスト図書調査の実施について

今年度は、1学期中の図書購入の希望が少なかったため、ショートホームルームの時間に図書委員がリクエスト図書の調査を実施する予定です。マンガ、ライトノベル、雑誌を除いて読みたい本があれば、調査用紙に記入して、図書委員に渡すか、図書館カウンターの箱の中に入れてください。

